

# I 市町の研究活動状況 【 高浜市 】

## 1 活動の概要について

研究組織の名称	高浜市教育研究会 教育事務部会
組織の構成員	市内学校事務職員
開催回数	年間3回程度
活動方法（ここ数年の）	テーマに沿って全員で研究を行っている。 テーマとは別に、次年度の文書管理「学校ファイル基準表」の修正及び「備品分類表」の追加等見直し作業を毎年度末に行っている。また、隔年で講師を招いての研修会を実施している。 「市教研活動集録」に部会活動のまとめを掲載している。

## 2 昨年度の活動について

### (1) 研究テーマ

学校間連携におけるシステムづくり

### (2) 活動内容

研究グループのテーマ①	学校間連携におけるシステムづくり
テーマ設定理由	事例研究による事務処理レベルの向上等
方 法	各自が経験した事例を持ち寄って事例研究を行った。 教職員向けの依頼文書や各種記載例等を市内統一し、配布日や提出日を統一する等、全校で同一レベルの事務を提供した。
年間の成果	各自が経験した事例を持ち寄って事例研究を行うことで、事務処理レベルの向上につなげることができた。 教職員向けに作成した依頼文書等のデータベース化、処理日程等の市内統一により、事務の効率化、平準化につなげることができた。
今後の課題	事例を増やすことに重点をおいてきたため、事例のまとめ方を今後検討し、手引きとして活用できるものの作成を目指す。

## 3 今年度の活動について

### (1) 研究テーマ

学校間連携におけるシステムづくり

(2) 活動内容

研究グループのテーマ①		学校間連携におけるシステムづくり
テーマ設定理由		事例研究による事務処理レベルの向上等
構想図の課題	今日的課題	1 財務運営                      ② 情報管理                      3 組織運営 4 地域連携                      ⑤ 教育活動支援
	経常的課題	Ⓐ 正確な事務処理                      b 事務改善 c 能力開発                      ④ 職場研修の充実
方 法		各自が経験した事例をもとにした事例研究を行い、事務処理レベルの向上を図る。事例のまとめ方を検討し、手引きとして活用できるものを目指す。 また、教職員への依頼文書や各種記載例のデータ更新等事務処理方法の市内統一、事務の効率化・平準化を引き続き進める。

4 研究組織と市町教育委員会との連携

研究テーマによって市教委と連携を図っている。  
就学援助事務処理の簡素化、手引き作成等、その都度連携を密に取りながら進めてきた。  
今後も同様のスタンスで研究を進めていく。

5 研究組織外での活動について（特に記入することがあれば）

特になし

6 各市町において、事務職員（全員または一部）が参加した会議及び研修会について

平成28年度		平成29年度	
名 称	情報ネットワーク委員会	実施の有無	Ⓐ 無
主 催	高浜市教育委員会		
参加者(対象者)	校長1名、情報教育担当各校1名、教務・校務主任代表1名、事務職員代表1名、養護教諭代表1名、市教委担当者1名	実施内容	(予定) グループウェアを有効活用するためのシステムづくりの検討と情報

実施回数	年2回		管理について
実施内容	グループウェアを有効活用するためのシステムづくりの検討と情報管理について		

平成29年度 新規に実施予定	
名 称	高浜市教育研究会教育事務部会夏季研修会
主 催	高浜市教育研究会
参加者(対象者)	市内全事務職員
実施回数	1回限り(隔年)
実施内容	個人型確定拠出年金(iDeCo)の制度について